

# ご挨拶

第23回分子予防環境医学研究会大会

大会長 平工 雄介

(福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学分野 教授)

このたび、大会長として分子予防環境医学研究会を開催させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。研究会は2001年に松島綱治先生が東京大学で第1回大会を開催されて以来、今回で23回を数えます。福井での研究会の開催は初めてになります。発足当時は若手であった自分が研究会を開催する立場になり、次の世代を担う人材の発掘と育成が重要な課題と感じています。そのため、研究会のテーマを「次世代の分子予防環境医学を見据えて」としました。

今回の企画として、特別講演を京都大学大学院医学研究科腎臓内科学教授の柳田素子先生にお願いし、「拡大する腎臓病学」というテーマでご講演頂きます。腎臓病の成因や進展の分子機構に関する基礎研究や臨床研究に関する先駆的なお話が拝聴できると思います。シンポジウムでは「化学物質による疾病の分子機構：次世代の社会医学系実験研究への展望」と題して、社会医学の領域で化学物質の健康影響に関する実験研究を行っている若手・中堅の4名の先生にご講演頂きます。今後の社会医学系の実験研究を担う人材の裾野の拡大につながることを期待します。

研究会はJR福井駅近くのアオッサで開催します。アオッサとは、福井弁の「会おっさ（会おうよ）」にかけて名付けられた、商業施設と公共施設から成る建物です。皆様には是非現地にお越し頂きたいのですが、ご都合に合わせてより多くの方にご参加頂けるよう、研究会はZoomの併用によるハイブリッド開催として行います。研究会では活発な議論を行って頂き、新たな出会いと今後の研究の発展のきっかけの場になることを期待します。

冬の北陸は天候が不安定で、当日は積雪などでご不便をおかけするかもしれません。また1月1日の能登半島を中心とする大地震で多数の方が犠牲になり、参加者の皆様にも影響を受けた方がおられると思います。被災された皆様にお見舞い申し上げます。福井県では震度5強が観測されています。この文章の執筆時点で、会場のアオッサでは建物内部の損傷のためエスカレーターが停止しています。移動にご不便をおかけすると思いますが、ご容赦下さいますと幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。